

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

兵庫県 丹波医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	27	対象	ド透訓ガ	救臨が感へ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,459,867	26,679	-	第2種該当	7：1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
316	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	320
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
316	-	316

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和4年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

丹波圏域の中核病院として、小児医療、周産期医療の拠点病院としての役割を担うとともに、救急診療や急性期医療、消化器、循環器をはじめとする専門医療のみならず、地域包括ケア、回復期リハビリテーションなど地域密着型の医療も提供している。  
また、圏域の救急医療の中核病院として、2次を中心に、3次的機能病院としての役割も果たしている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症に伴う入院病床の確保、受診控え等の影響による減収はあったものの、新型コロナウイルス感染症患者の受入に努めるとともに、新たに稼働した回復期リハビリテーション病棟の患者確保や、救急患者の受入促進に努めたことによる患者数の増加、新型コロナウイルス感染症対策関連補助金の収入などにより、経常収支比率は前年度より改善した。

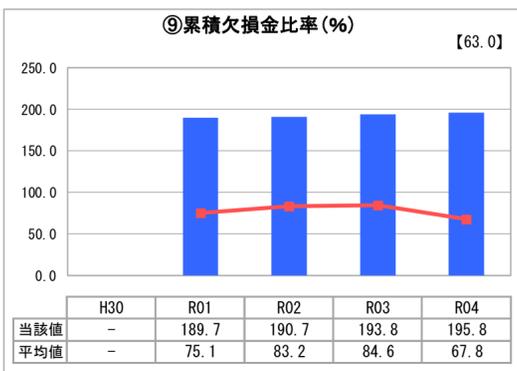
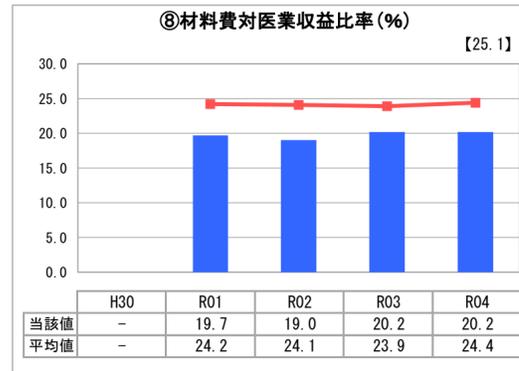
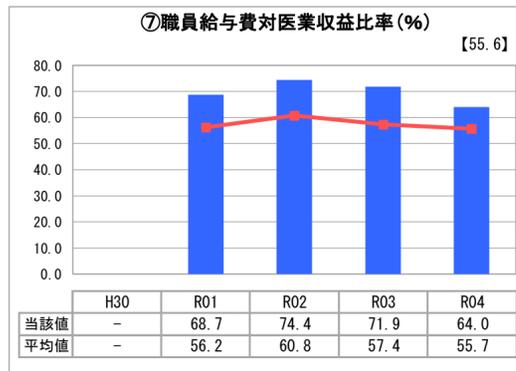
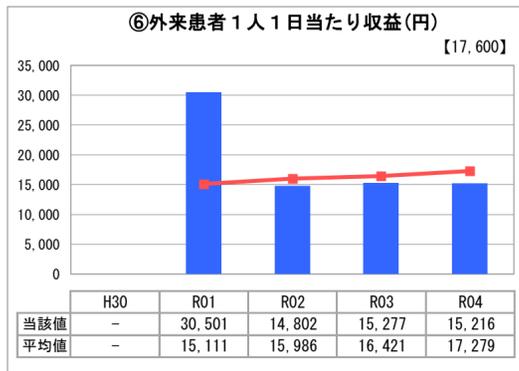
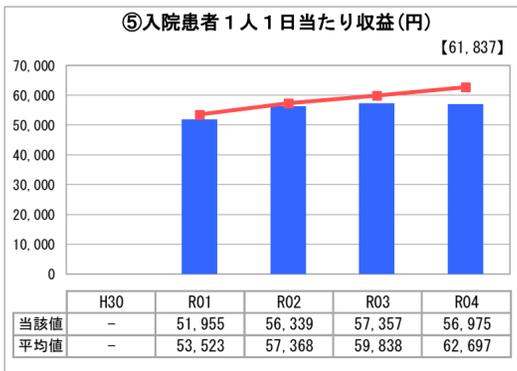
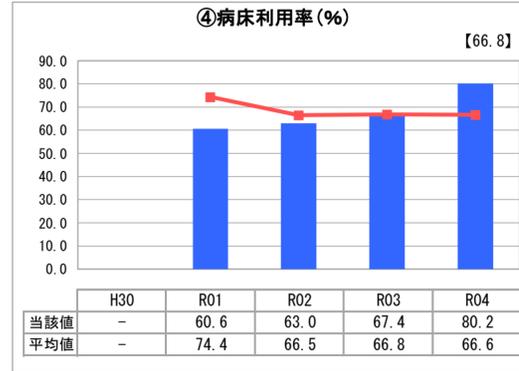
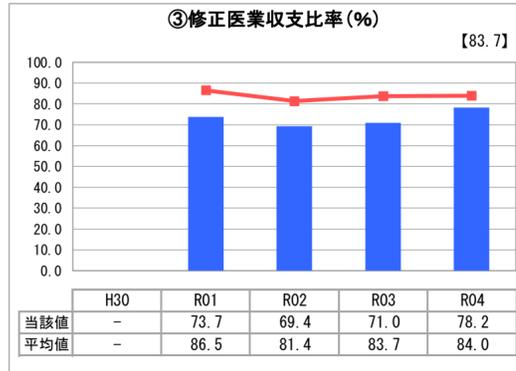
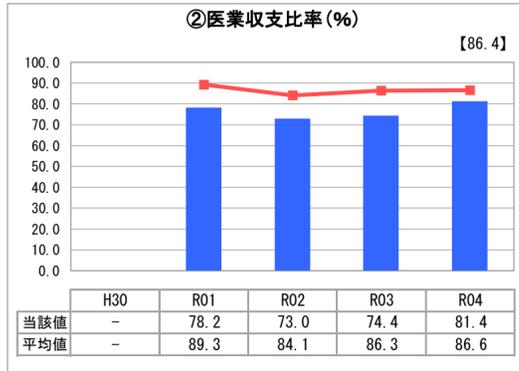
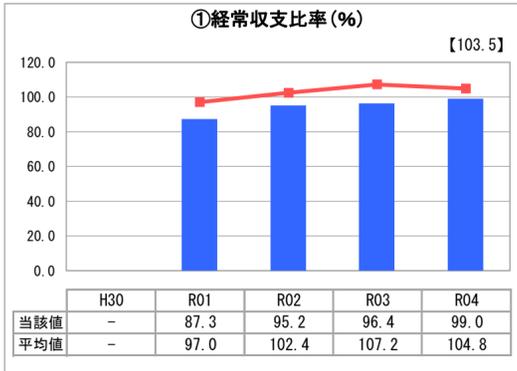
### 2. 老朽化の状況について

令和元年7月1日開院のため、有形固定資産減価償却率は全国平均を下回っている。  
開院に合わせて多くの医療機器を更新したため、器械備品減価償却率は全国平均を下回っているが、旧病院から移設して使用している機器の中には耐用年数を経過しているものもあり、計画的な更新が必要である。

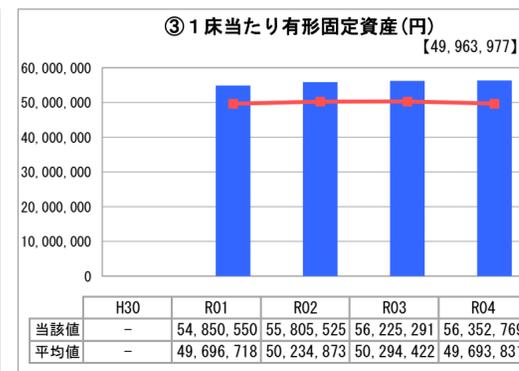
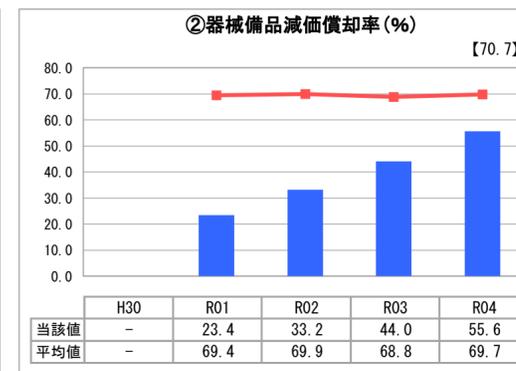
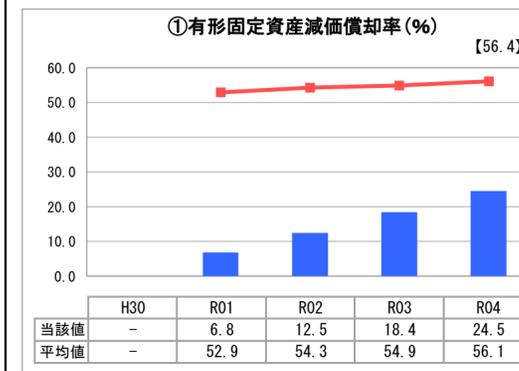
### 全体総括

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響があったが、救急患者の受入促進や、新たに稼働した回復期リハビリテーション病棟の患者確保などに取り組んだことにより、経常損益は前年度よりも改善し初めて黒字経営となった。  
引き続き、回復期リハビリテーション病棟の安定稼働や、救急患者の受入促進、地域医療連携の推進などに取り組み収益を確保するとともに、費用の抑制に努め、経営の安定化に努める。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。